学校番号	T3003

平成３１年度　工業科（生活デザイン）

教科	工業	科目	建築実習	単位数	2	年次	2
使用教科書							
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・生活の中にある色や形のあり方の基本を理解するために、色鉛筆や絵の具を使って様々な表現方法を学習します。
・様々な技法を体験し、様々な道具を使いこなし、自分らしい作品を制作ことが出来るようになることを目指しましょう。
・最後まであきらめず、作品を作ることで達成感を味わいましょう。

2 学習の到達目標

・美術・造形の幅広い創造活動を紹介し、様々な技法に関心・興味をもたせる。
・身の回りの建物や造形物に関心を持ち、色や形が与える影響を感じ取れる。
・作品の作成過程に創造・自分らしさを表現する。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	身の回りの色･形に関心をもって､主体的に表現やの創造的活動に取り組もうとしている。	身の回りの色・形の美しさや楽しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	作品を表現するために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	作品の作成に取組み、色や形の特徴を作品の中に自分らしさとして表現しいる。
評価方法	出席 観察 自己評価 課題 作品	出席 観察 自己評価 課題 作品	出席 観察 自己評価 課題 作品	出席 観察 自己評価 課題 作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	基本演習	○鉛筆など描写基礎演習 形態と調和	○			○	a:鉛筆を使って、色の強弱や明るさの違いが作れることがわかる。 b:物の形を、紙の上に表現する時のルールを理解している。 c: 最後まであきらめず、完成することができる。。 d:目に映るものを紙に表現すること。	出席 観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題 作品
	基本演習	○色鉛筆による描写基礎演習 色彩の基礎	○			○	a:色鉛筆の使い方を理解し、作品制作をしている。 b:色の関係を理科し、紙の上に自分の作品を表現しようとしている。 c: 最後まであきらめず、完成することができる。 d:作品に自分の表現を取り入れて表現しようとしている。	出席 観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題 作品
	平面作品①	○造形の表現 表現法の基礎	○	○	○		a:造形の物を理解し、形作ることができる。 b:基本的な形の構成を理解し、同じものを形づくることができる。 c: 最後まであきらめず、完成することができる。 d: 自分の考える形を作ろうとし、表現できる。	出席 観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題 作品
	平面作品②	○アクリル絵の具による描写基礎演習	○	○	○		a:絵の具の使い方を理解し、作品制作をしている。 b:色の関係を理科し、紙の上に自分の作品を表現しようとしている。 c: 最後まであきらめず、完成することができる。 d:作品に自分の表現を取り入れて表現しようとしている。	出席 観察 ﾜｰｸｼｰﾄ 課題 作品

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。